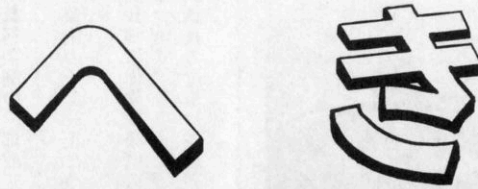


今月の納税

今月は、国民健康保険税第一期の納税月です。月末までに忘れないように納めましょう。

尚、国民健康保険税の納期前納付は、5月16日(月)が期限です。

広報



村の人口

3月31日現在

世帯数	1,452戸
人口	
男	2,580人
女	2,903人
計	5,483人



(写真は開会式の様子)

本村議会チーム惜敗

無

念

4月24日、日置中学校で第8回長門大津議会議員親睦ソフトボール大会が行われた。本村議会チームは、3本のホームランも空しく無念の涙をのんだ。優勝は油谷町議会チーム。

とじて保存しましょう

▶手をつなぐ親の会が発足◀

この子こそ我が生きがい

久保春一(一円)

人間が生きている限り、世の母が障害児を産まないという保証は何一つない。不運な星のもとに生まれたばかりに、人間としての幸に一生めぐり会えないばかりか、いたたいけないその生命の灯さえおぼつかない重度身心障害児、そしてその母たちは何人も子どもを産める健康な母体を持ち必要ならば中絶もできる今の世の中で、何を好んで障害児を選んだわけでもない。いわば大自然の営みの中で偶然に出会った悲しい運命のいたずらであった。そして他人に知れない言語に絶する苦悩の世界にありえいでいるのである。加えて多様化する社会の中で、物心両面にわたる重圧と社会の偏見、差別の中で、身も世もあらぬ思いなのである。

こうした日置村内の保護者、母親たちが、四月十七日に改善センターに集まり、村長さんを始め文教厚生各議員さんをお賓に迎え、「日置村手をつなぐ親の会」設立総会を開催し、次のことについて誓い合いました。一、障害児のしあわせのため命をかけよう。この子だけは可愛さが違う。「この子を残して」親が世を去るまで、この子こそ我が生きがいであることとを確信しよう。

二、社会の理解と認識を深め、福祉風土の高揚に努力しよう。我が国神代の時代、神の子ヒルコは障害児の故に川に捨てられたという。西洋史ブルタークの時代、障害者は社会の負担として抹殺された。宗教が出現し

てから慈善事業としてわずかに救われ、人間の英智と文化の進展によって、現在では「一人一人の命は地球よりも重い」のキャンペーンのもとに、ようやく生命論に立脚した人間観が唱えられるようになったが、この間三千年の歴史を経ている。しかも「福祉なくして成長なし」の名言も、いまや後退のきざしさえ見られるとき、会員は一般住民と結束して歯止めをかけた。

三、会員はお互いに社会悲劇を起こしてはならない。会員は常に社会悲劇の要因を抱えている。思い余って子供をぎゃくたいしたり、殺したり、母子心中など、最悪事態の起こらないよう、しっかり手を結んでもはなすまい。そしてこれからも、公害、医療、薬害、交通災害、出産障害、ダウン症など、益々障害児多発時代の中に在って、会員はその先駆者となり次代の暖い担い手になりましょう。

今後、村行政並びに関係各機関を始め、村民各位の暖かいご理解とご支援を賜りますよう、会員一同心からお願ひ申し上げます。(手をつなぐ親の会会長)



日置村役場 日置村教育委員会
日置村印刷株式会社 日置村印刷株式会社
発行印刷